

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターたんぽぽ			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 12月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児発 71 放デイ 91	(回答者数)	児発 51 放デイ 46
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日 ～ 2025年 1月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援 年齢・特性に合わせ、段階的で多職種連携した支援の提供 ・放課後等デイサービス 児童発達支援からの継続利用	・支援内容や児の変化や様子について、日常的に職員間で情報共有を行い、具体的な支援を検討・実行するようにしている。 ・年齢や特性等必要に応じて母子同伴から始めて、分離へ移行し段階的に支援を広げていく。 ・発達過程を把握し、関りや評価に活かしている。	・サービスごとの担当者だけではなく、事業所内で連携できるよう、情報共有する。
2	・専門職(言語・作業・理学・心理)の評価や支援	・集団療育で個々の特性や発達段階を見極めながら、適切な時期に必要な専門職による支援に繋がったり、支援の幅を広げている。	・安定した利用提供をする為の人材確保と育成
3	・市町や県からの委託事業 (療育相談・施設支援等)	・近隣市町、医療機関と連携し、医師による発達相談の機会を設けている。 ・相談内容や意向を丁寧に聞き取り、検査・診察後に療育の希望等あれば、児の状態や家庭の生活実態に応じて資源を案内している。 ・施設支援では、療育に繋がっていない児を対象に施設職員へ	・療育相談では、相談件数の増加に対応できる、人材の確保 ・施設支援については、更なる周知と将来的に県委託から市町と連携した事業とする等の検討をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・立地条件	・通所する利便性(公共の交通機関・距離等) ・住宅地域ではない為、自治会等の関りが取りにくい。 ・多くの地域と連携する上での、調整やバランスが難しい。	・専門性や特色ある支援を充実させていく。 ・隣接する施設や学校行事等を把握し、積極的に参加する。主催のイベント等を増やす。 ・地域行政との連携については、必要に応じて法人として調整する。
2	・送迎での利用者確保	・立地という物理的要因と対応できる体制が不十分	・利用者(放デイのみ)の動向に合わせて、年度ごとの見直しをする。 ・体制を整えるための人員確保や業務調整 ・保護者送迎のメリットを特色とする支援の提供

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					利用児童数		回収数	
児童発達支援センターたんぽぽ(児童発達支援)		2025年1月28日					71		51	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	96%	4%			・ 広くのびのび活動できている ・ 広い ・ お部屋がもう少し広い方が子供が動きやすいのかもと思うが、広くすることは難しく、広くすると目が届きにくいのかもと思う ・ 子供は狭いと言っている ・ 園より手厚く安心できる ・ 一対一で対応しているので丁寧		・ 今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	94%	6%					・ 今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				・ こども目線で配置されていると思う ・ イラストで分かりやすいと思う ・ 特に不満はない		・ 今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96%	4%			・ いつもきれいでとても良い！		・ 今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96%	2%		2%	・ 親よりもよく見て（専門的に）思いやりのある支援をして下さっていると感じる ・ いつもよく教えてくれるし、こちらの話もしっかり受け入れてくれる。本当に感謝しかない ・ ていねいに対応していただいていると思う		・ 今後も支援の質を維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	98%	2%					・ 今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%						・ 今後も専門職を含め、計画作成に携わっていく、改善点があれば見直し、対応していく。	
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%			4%			・ 今後も専門職を含め、支援内容の維持、設定に努める。改善点があれば見直し、対応していく。	
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	100%						・ 今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96%	2%	2%		・ 室内での活動だけでなく、季節を感じられる屋外での活動や買い物など生活に密着した内容もあり、本人もとても楽しんで参加している ・ いろんな活動内容があり、子供も楽しそうに報告してくれる		・ 今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	59%	10%	6%	25%	・ 交流活動のプログラムは今までなかったと思う		・ 地域の園と並行利用が多い為、特に機会は設けていないが、必要に応じて検討する。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	98%				※回答なし 2%		・ 今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94%	4%	2%				・ 今後も丁寧な説明に努め、改善点があれば見直し、対応していく。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	69%	6%		25%	・ これまではあまりそのような機会を活用できてこなかったように感じる ・ 質問や面談の中でかわり方を教えていただけたのでありがたかった		・ 講演会や研修等開催したり、案内をしているが、周知されていないことがある為、方法を更に検討する。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	96%	4%			・ 毎回細かく説明をしてくださり、友だちとの接し方などよく知ることができる。また、声掛けの仕方なども知る事ができるので難しい ・ 迎えに行った際、その日の様子を詳しく教えていただき安心できる ・ あまり詳細まで話す時間がないと思う		・ 今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	88%	10%	2%	・相談員さんとの面談という意味で「はい」 ・その日の様子は伝えてくれるが、現在の困ったことに関しては助言などは特にもらったことはない。将来的な目標に合わせた経過とか、説明がもっと欲しいと思った。「～達成するためには時間がまだまだかかる」など	・保護者の困り感や状況を聞き取れるよう努め、しっかりと伝わるよう確認しながら説明する。 ・定期的な機会よりも、適時適切な対応に努めているが、今後検討はしていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	88%	12%			・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25%	8%	4%	61%	※回答なし 2% ・きっかけになるよう親子のプログラムを提供するが、参加率が低い。機会の提供の仕方を検討する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	80%	8%		10%	※回答なし 2% ・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	96%	2%			※回答なし 2% ・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	67%	2%		29%	※回答なし 2% ・あまりHPを見ていないのでわからない ・発信していることを周知していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%	2%		6%	※回答なし 2% ・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	57%		2%	39%	※回答なし 2% ・見直して、改善する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33%			65%	※回答なし 2% ・先生の話聞く事をしっかりできるようにしてもらっているので、いざという時大丈夫だと思う ・訓練は分からない（実際に見聞きしていないので） ・見直して、改善する。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	71%	2%		25%	※回答なし 2% ・見直して、改善する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	71%	2%		25%	※回答なし 2% ・実際にけが事故に合っていないのでわからない ・見直して、改善する。 ・事故対応については、職員間で周知徹底していく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	88%	10%			※回答なし 2% ・園以外の子たちと会うのは少し緊張しますが、先生がみんな親しみやすいおかげで頑張っって通っている ・部屋に入るとサッと用意して奥に入っていくので、楽しみだし安心して居るんだろうと思う ・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	82%	14%	2%		※回答なし 2% ・保育園を抜けてくるので、それに対しては僕だけなんで？と思っていると思う ・たんぽぽに行く日は幼稚園の先生に「今日行くんだ」と嬉しそうに話している ・なかなか利用できない日が続くと、「次はいつ行く？」と聞いてくるほど楽しみな様子 ・あまり好きではないが、プログラムによっては楽しそうにしている事もある ・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	98%				※回答なし 2% ・毎回その日の様子をしっかり見ていたでいて有難い ・様々な経験、体験をさせてもらっていて子供の様子もよく見ていただけていると思う ・子供のペースに合わせてくださるので有難い ・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターたんぽぽ(放デイ)

公表日 2025年1月28日

利用児童数

91

回収数

46

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	89%	7%		4%	・確保されてると思う	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	78%	11%		11%	・実際に全員で何人いるかは分からない	・基準は満たしつつ、必要に応じて配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89%	11%		9%	・そこまで細かく館内を見たわけではないので分からない	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				・生活空間は確保されてると思う	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%	4%		4%	・実際に様子を見たことがないので分からない ・子どもが興味を持つような遊びや訓練の中で、必要な支援をしてくださっています。	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	85%	6%		9%	・実際に様子を見たことがないので分からない	・お便り等にならいや目的は提示しているが、周知方法を更に検討していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96%	2%		2%	・分析を評価もされて作成されてると思う ・細かな部分にも注目してくださり、子どもに必要な支援をいつも考えてくださっています。	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	87%	7%		4%	※回答なし 2% ・いろいろとよく分からなかったので分からない ・分かりやすく説明して下さい。	・説明にかける時間が、個人によって違う為、検討する。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	94%	4%		2%	・実際に様子を見てないので分からない	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	87%	7%		4%	・おたよりを見てるといような活動をされているのが分かる	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13%	11%	17%	57%	※回答なし 2% ・そのような機会はなかったと思うのでいいえ ・もっと交流する機会があればいいと思います。 ・本人が言っている内容では機会はないのかなと思う ・言語訓練利用なので交流する機会はない	・地域の活動に属している児もいる為、積極的に活動としては、取り組んではないが、検討していく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	92%	2%		4%	※回答なし 2% ・契約時に詳しく説明して下さった	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96%	2%			※回答なし 2% ・契約時に詳しく説明して下さった	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22%	16%	11%	50%	・そのような機会はなかったと思う ・言語訓練利用なので交流する機会はない	・講演会や研修等開催したり、案内をしているが、周知されていないことがある為、方法を更に検討する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	85%	13%		2%	・連絡帳で特記する内容は可能な限り伝えてはいると思いますが…微妙 ・送迎を利用しているので以前よりお話しする機会が減ったように思います	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	56%	25%	9%	10%	・特に希望していません ・あまりそのような機会は設けられてなく思う。助言に関してもあまりという感じ ・お家でのリハビリの仕方やかかわり方を丁寧に教えて頂いています。 ・送迎時になかなか行けないので面と向かって話す機会は少ない ・送迎の際とは別に子どもに関して相談できる機会を設けていただけたらありがたいです。 ・送迎を利用しているので以前よりお話する機会が減ったように思います	・送迎の関係で、時間をかけての活動報告や互いに相談する機会は、減っているのが、現状。連絡帳を活用したり、必要に応じて電話等で対応しつつ、改善したい。働いている保護者も多く、調整の仕方の難しさを考慮しながら検討する。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	89%	4%		7%	・本人に対してとても寄り添った支援をして下さってると思う	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11%	15%	22%	52%	・そのような機会はあまりないと感じる ・保護者やきょうだいの交流があればいいと思います ・兄弟も一緒に参加できるプログラムがあると嬉しいです。 ・言語訓練利用なので交流する機会は少ない	・機会が提供できるよう検討する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	60%	11%		25%	※回答なし 4% ・対応されてると思うが実際は分からない ・今、困っている事、悩んでいる事などをしっかり聞いてくださり、アドバイスをいただいています ・相談は聞いていただいていると思います	・今後も適切に丁寧な対応に努める。また、相談しやすい、相談できるきっかけができるよう、働きかけていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	82%	11%		2%	※回答なし 5% ・連絡帳を活用させていただけるので、はい	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	71%	14%	2%	11%	※回答なし 2% ・おたよりを見て確認してるのではない	・発信していることを周知していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91%	5%		2%	※回答なし 2% ・十分留意されてると思う	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	52%	18%		27%	※回答なし 3% ・訓練を行っているとは聞いたことがない（知らないだけ？） ・参加はできていないかと思います	・見直して、改善する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26%	15%	2%	55%	※回答なし 2% ・実際に行ってるかどうか分からない ・年に1度でもいいので防災訓練を行っていただけるとありがたいです。 ・言語訓練の利用なので訓練の機会がない。 ・参加はできていないかと思います	・見直して、改善する。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	58%	16%		24%	※回答なし 2% ・実際に行ってるかどうか分からない	・見直して、改善する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	59%	15%		24%	※回答なし 2% ・実際に行ってるかどうか分からない ・今のところ事故など発生していないので分かりません。事故ではないですが、以前飲み薬を持たせた際に伝え忘れてしまったことがありますが、その時は連絡をくださったのでありがたかったです。 ・説明されていると思うが、その機会がないのでわからない。	・見直して、改善する。 ・事故対応については、職員間で周知徹底していく。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	96%			2%	※回答なし 2% ・発語がないので本人がどう思ってるかわからない ・一週間のスケジュールがバンバンなのに「行く」と言って楽しみにしています	・今後も維持し、改善点があれば見直し、安心して通所してもらえるよう努める。

満 足 度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	87%	9%	2%	※回答なし 2% ・帰ってからはその日した事をたくさん話してくれます ・発語がないので本人がどう思ってるかわからない（同上） ・娘の安心する場です ・毎週とても楽しみにしています。色々な事を経験させてくださり、ありがたいです。 ・リハビリに行くこと、先生方に会える事を楽しみにしています。	・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。 ・子どもたちが楽しみながら、取り組める支援ができるよう努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	2%	2%	※回答なし 2% ・ご迷惑おかけすることも多々ありますが、これからもよろしくお願いします ・いろいろ加味した結果、分からない ・ただでさえ不安なのに分かってくれて、アドバイスしていただけて前に進めています。ありがたいです。 ・少しずつですが、出来ることが増え、言葉が増え、コミュニケーションがしやすくなりました。 ・子どもが飽きないよう内容を工夫して下さっているのを楽しんで取り組んでいます。 ・これからもよろしくお願いします。 ・職員のみなさんが優しく、話しやすいので親子ともに安心して利用しています。いつもありがとうございます。 ・他の利用者さんや先生達に会い、一緒に様々なプログラムができること楽しみにしています。いつもありがとうございます。	・ありがたいご意見を頂き、今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。 ・子どもたちが楽しみながら、取り組める活動を提供し、保護者の方とも連携し、より良い支援ができるよう努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援センターたんぽぽ		2025年1月28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・配置を満たしつつ、児の状況に合わせて可能な範囲で人員を増やしている。	・制度と現状が合致していない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・刺激軽減で家具等目隠しや、掲示物の貼る位置を工夫している。 ・部屋毎にキャラクターを表示し、覚えやすくしている。	・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	93%	7%	部屋の使用状況がわかる表を作成したり、ホワイトボードで共有している。	・認めてはいるが、全体の使用状況によっては、対応できないこともある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	77%	23%		・支援時間と業務改善を進める時間の調整が難しいのが現状。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85%	15%		・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。 ・担当人数が多く、求められているであろう時間を充てることが難しい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	85%	15%		・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。今年度第三者評価受審
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	93%	7%	・研修案内があれば閲覧し、必要に応じて必須で受講してもらう。 ・内部研修の実施。	・研修等開催されていても、業務との調整が難しい場合がある。 ・任意で各自が受講している。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・HPやパンフレットに記載。 ・作成段階から職員間で共有。	・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	93%	7%	直接支援の職員は作成に携わっている。	・専門職の訓練を受けている場合、必要に応じて連携はしているが、最善の検討が出来ない場合もある。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	93%	7%	・個人ファイル内で確認・共有できるようにしている。	・専門職の訓練を受けている場合、必要に応じて連携はしているが、共有が出来ない場合もある。 ・専門職の非常勤職員への共有が不十分である。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	77%	23%	・日々活動の振り返りを実施し、インフォーマルなアセスメントは行っている。 ・半期に一度、所定のアセスメント表を配布。	・インフォーマルに行ったアセスメントの見える化を見直す。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・ガイドラインや参考事例があれば、職員間で共有し、見直している。	・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	77%	23%		・ 個別の訓練に関しては、必要に応じてになっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	85%	15%		・ 毎回できるよう徹底する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	85%	15%		・ 送迎の為終了後は難しいこともあり、振り返る設定を見直していく。 ・ 業務時間内では限界がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	93%	7%	・ 記録は必須として取り組んでいる。	・ 徹底のレベルの確認。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			・ 今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%			・ 今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			・ 今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	93%	7%	・ 会議録を取る。	・ 今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	93%	7%		・ 今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	62%	31%	7%回答なし	・ センターとしての取り組みを拡大、検討を継続する。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	31%	62%	回答なし7% ・ 就園し、並行利用の為、事業所として交流の場は設けていない。	・ プログラムとして、必要に応じて検討。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	92%	8%	・ 活動終了後に報告している。	・ 送迎等の関係で、日常的に伝えられない児に対する対応。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	77%	23%	・ 講演会開催 ・ 親子参加型のプログラムの提供。	・ ペアトレとは銘打ってない為、実際はペアトレになっている、わかりにくい。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	92%	7%		・ 今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	92%		8%回答なし ・ 毎年実施している。	・ 担当者対応になっているため、全員が実務として携わっていない。
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	54%	38%	8%	
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	93%	7%	・ 研修案内があれば回覧し、必要に応じて必須で受講してもらう。 ・ 在職する専門職から日常的に助言を受けている。	
	36	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	62%	31%	7%回答なし	・ 一部の職員が参加している。会議の内容を周知する。
	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	86%	14%	・ 保護者にも協力してもらい、把握している。	

	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	71%	29%	・園から直接ではなく、児発から移行する児が多い為、内部で情報共有できる。	
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80%	20%	・必要に応じて提供している。また、必要かどうかの確認も取っている。	・携わっていない職員への周知が必要。
	40	【放デイのみ】 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	43%	57%		・管理者等の職員が参加している為、今後は現場職の参加も検討していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	92%		8%回答なし	・説明等に携わっていない職員への周知徹底。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	92%		8%回答なし ・利用の際に意向等聞き取れるよう努めている。	・特別な機会として設定するかは検討する。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	77%	23%	・日常的に行うことが、適時適切。	・利用時とは別に機会を設定する難しさがあるが、検討していく。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	46%	54%	・親子での活動を提供し、親同士が関わる機会を設けている。	・検討していく。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	92%	8%		・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・お便りやHPで確認してもらう機会をつくっている。	・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。発信している事を周知していく。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	46%	54%	・隣接する法人施設と合同で実施。	・コロナ以前は開催していたが、今後動向をみて、検討していく。
	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
非 常 時 等 の 対 応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	46%	54%		・書面作成後の周知について見直す。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	31%	69%		・書面作成後の周知について見直す。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	92%	8%	・確認できるファイルがある。	・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	77%	15%	8%回答なし ・指示書を出してはもらっていないが、保護者が医師から指示を聞いているかは確認し、管理栄養士と連携し、食事等提供する場合は事前にチェック表で確認。	・重症な場合は必要。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	69%	31%		・書面作成後の周知について見直す。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	62%	38%		・書面作成後の周知について見直す。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。

	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	92%	8%		・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	85%	15%	・身体拘束が必要な児がほほいない。必要な場合は保護者に確認する。	・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターたんぽぽ			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		～	2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月 18日		～	2024年 12月 13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	13	(回答数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種連携	・施設での様子を見学し、共有しながら支援について話し合い、保護者にフィードバックする。 ・保護者の意向、相談支援事業所とも連携し、意向に応じて専門職が連携し訪問する場合もある。 ・訪問先との信頼関係を構築する。	・訪問するためのスキルの向上の為、経験がある職員と同伴する職員の2人体制が望ましい。
2	・経験豊富な職員の訪問	・施設での様子を見学し、共有しながら支援について話し合い、保護者にフィードバックする。 ・施設の状況も考慮した、支援方法と支援の方向性を互いに共有する。	・訪問するためのスキルの向上の為、経験がある職員と同伴する職員の2人体制が望ましい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・不定期的な訪問	・他事業との業務調整と、依頼を受けてからの施設との日程調整の難しさ。	・訪問専従の職員の検討することで、定期的な訪問が可能になると考える。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						2025年1月28日	
児童発達支援センターたんぼぼ		利用児童数						16	
								回収数	
								9	
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	45%			55%			
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%					・今後も維持に努める。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					・今後も適切に対応する。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					・今後も適切に対応する。	
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%					・今後も適切に対応する。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					・今後も適切に対応する。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	88%	12%			受動的で、こちらが依頼しないと訪問にならない。	訪問制度・利用の仕方について周知徹底し、保護者のニーズの把握と対応について共有する。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	88%			12%		・今後も適切に対応する。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	78%			11%	回答なし11%	・今後も適切に対応する。	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88%	12%			受動的で、こちらが依頼しないと訪問にならない。	訪問の利用の仕方について周知徹底し、保護者のニーズの把握と対応について共有する。	
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	88%			12%	園の先生に具体的なアドバイスをもらってあげて欲しい。子どもへの対応に困っていることに変わりがない。	園と共有した内容の丁寧な報告と、事前に保護者の要望を聞き取って、訪問を実施する。訪問後の様子の聞き取りの徹底。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					・今後も適切に対応する。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	88%			12%		・今後も適切に対応する。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	55%	11%	11%	23%		・講演会等開催しているが、周知されていないこともあり、方法を見直す。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	88%	12%			受動的、もっと園と連携するのかもしれないが、単発的な介入になっている。	訪問の制度・利用の仕方について周知徹底。連携については施設と保護者の意向を確認して対応していく。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	88%	12%			受動的、もっと園と連携するのかもしれないが、単発的な介入になっている。	訪問の制度・利用の仕方について周知徹底。連携については施設と保護者の意向を確認して対応していく。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					・今後も適切に対応する。	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					・今後も適切に対応する。	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					・今後も適切に対応する。	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	88%			12%	先生によって、アドバイスする対応をかわしてほしい。	保護者の意向・施設との関係性に配慮しながら、適切に対応していく。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%					・今後も適切に対応する。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%					・今後も適切に対応する。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	66%	12%		22%		・発信している事を周知できるよう、見直す。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	88%			12%		・今後も適切に対応する。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	66%			34%		・連携について、見直して検討する。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	77%			23%		・周知方法を見直し、検討する。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	88%			12%		・今後も適切に対応する。子どもの様子を確認しながら実施する。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%				満足している。	・今後も意向の添えるよう努める。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
児童発達支援センターたんぽぽ		2025年1月28日				
		訪問施設数			回収数	
		13			11	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	90%	10%		・わかりやすく参考になる。 ・実際に取り入れている。 ・わかりやすいが、クラスの人数を考えると、タイミングが難しい。	・今後も保護者の意向、こどもの現状や課題縋把握に努めて、助言で来るようにする。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	90%	10%		・その子に合った支援をされている。 ・満足している。 ・成長に伴った習得するべき力、現状をわかりやすく教えてもらえた。	・今後も保護者の意向、こどもの現状や課題縋把握に努めて、助言で来るようにする。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	90%	10%		・共通理解に繋がっている。 ・適切に回答してもらった。 ・学校で使用できる教材を紹介してもらえた。	・今後も質の維持に努める。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	90%	10%		・園での様子も見てもらえ、保護者との話し合いがスムーズになった。 ・行事の取り組み方がわかった。 ・児童の苦手なことや課題を具体的に教えてもらい、わかりやすかった。 ・方向性が整うと感ずる。	・今後も保護者の意向、こどもの現状や課題縋把握に努めて、助言で来るようにする。
5	事業所からの支援に満足していますか。	82%	18%		・共通理解し、支援しやすくなって満足。 ・定期的に連絡があり助かっている。 ・保護者とのやり取りのきつかけができた。 ・日程調整が難しいことがある。	・事業所としても、訪問の受け入れに応じて頂ける事に感謝している。保護者も含めて連携することで、より良い支援につながっている。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・事業所の見学や、記録の共有で様子がよくわかります。共通理解ができ、保護者との話し合いもスムーズになっています。保護者との信頼関係の大事なので、共通理解することで支援がしやすいと感じています。 ・支援の仕方を考え、良い方向に向かうよう、関わる職員達で共有しやすくなっています。 ・学校からも事業所に訪問することも大切ではないかと思う。 ・支援に対する知識・技術を保育教諭等にわかりやすく伝えてもらえ、的確な支援へとつながれているので、先生たちの困り事が減少している。 ・訪問後の報告をしてもらえる。				・保護者の依頼で訪問するが、保護者の困り感や要望に対応しつつ、施設側との情報共有や支援の共通理解する事が、より良い支援につながることから、今後も連携し適切に対応していく。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援センターたんぽぽ		2025年1月28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。			事業所から提供する教材はないが、情報提供はや、施設側の教材等で工夫できることを提案している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。				・事業所内の業務との調整が難しい。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	77%	23%		・支援時間と業務改善を進める時間の調整が難しいのが現状。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85%	15%		・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。 ・担当人数が多く、求められているであろう時間を充てることが難しい。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	85%	15%		・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。今年度第三者評価受審
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	93%	7%	・研修案内があれば回覧し、必要に応じて必須で受講してもらう。 ・内部研修の実施。	・研修等開催されていても、業務との調整が難しい場合がある。 ・任意で各自が受講している。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。			・定期的に集団や個別を利用している為、現状や課題の把握はしている。保護者とも日常的に情報共有している。	・その都度困り感や変化が見られた時の利用が主である為、具体的な内容は記載していないが、訪問の際の意向確認は丁寧にを行い、ねらいを持って実施。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			・定期的に集団や個別を利用している為、現状や課題の把握はしている。保護者とも日常的に情報共有している。	・その都度困り感や変化が見られた時の利用が主である為、具体的な内容は記載していないが、訪問の際の意向確認は丁寧にを行い、ねらいを持って実施。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。			・必要に応じて、訪問先と連携して、事前に打ち合わせてから訪問している。	・その都度困り感や変化が見られた時の利用が主である為、具体的な内容は記載していないが、訪問の際の意向確認は丁寧にを行い、ねらいを持って実施。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			・訪問の主訴は共有している。	・その都度困り感や変化が見られた時の利用が主である為、具体的な内容は記載していないが、訪問の際の意向確認は丁寧にを行い、ねらいを持って実施。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	77%	23%	・日々活動の振り返りを実施し、インフォーマルなアセスメントは行っている。 ・半期に一度、所定のアセスメント表を配布。	・インフォーマルに行ったアセスメントの見える化を見直す。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。				・その都度困り感や変化が見られた時の利用が主である為、具体的な内容は記載していないが、訪問の際の意向確認は丁寧にを行い、ねらいを持って実施。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。				・その都度困り感や変化が見られた時の利用が主である為、具体的な内容は記載していないが、訪問の際の意向確認は丁寧にを行い、ねらいを持って実施。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			・訪問した職員は、保護者にする報告内容も共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			・報告は実施している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。			・訪問先と事前に連携してから実施。	・理念に触れることは難いので、本人支援と施設の支援方法との共通理解。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	93%	7%	・記録は必須として取り組んでいる。	・徹底のレベルの確認。

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	93%	7%	・会議録を取る。	・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	93%	7%		・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	92%		8%回答なし ・毎年実施している。	・担当者対応になっているため、全員が実務として携わっていない。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	93%	7%	・研修案内があれば回覧し、必要に応じて必須で受講してもらう。 ・在職する専門職から日常的に助言を受けている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	62%	31%	7%回答なし	・一部の職員が参加している。会議の内容を周知する。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	92%	8%	・活動終了後に報告している。	・送迎等の関係で、日常的に伝えられない児に対しての対応。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	77%	23%	・講演会開催 ・親子参加型のプログラムの提供。	・ペアトレとは銘打ってない為、実際はペアトレになっていても、わかりにくい。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	92%		8%回答なし	・説明等に携わっていない職員への周知徹底。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%		・初めての訪問先の場合は、相談支援事業所等と連携して、説明している。	・訪問先の管理者により
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	77%	23%	・日常的に行うことが、適時適切。	・利用時とは別に機会を設定する難しさがあるが、検討していく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	46%	54%	・親子での活動を提供し、親同士が関わる機会を設けている。	・検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	92%	8%		・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・お便りやHPで確認してもらう機会をつくっている。	・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。発信している事を周知していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	46%	54%		・書面作成後の周知について見直す。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	69%	31%		・書面作成後の周知について見直す。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	92%	8%		・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	85%	15%	・身体拘束が必要な児がほぼいない。必要な場合は保護者に確認する。	・今後も維持に努め、改善が必要であれば対応する。